

東 浜



令和4年9月1日

通巻230号

発行

東京浜螺協同組合

東京都墨田区押上1-32-12

TEL. 03(3613)4141

『食欲の秋』

撮影場所

雅遊庵 風の陣

撮影日

2020年9月8日

撮影者

株式会社ウチダ 内田晃一 氏



目次

巻頭言	
「製苔価格高騰」副理事長 新保良孝	2
委員会だより	3
流通経営委員会	3
支部だより	4
活動報告 昌栄支部	4
城南ぼんやり旅行記 城南支部	5
例会報告 墨田支部	7
例会報告 台京支部	7
納涼会 千神螺支部	8
七月墨水支部例会 墨水支部	8
港浜螺会七月例会 港 支部	9
泰浜会だより 篠崎隆広	11
東浜ゴルフ会	12
組合の会議から	12
計報	12
新シリーズ「私の逸品」	
広報委員 水田三喜男	13
新社長紹介 武蔵野浜螺株式会社	
代表取締役 小松秀旗	14
情報室 広報委員長 尾方謙一	14
表紙の言葉 (株)ウチダ 内田晃一	16

巻頭言

「製品価格高騰」

副理事長 新保良孝



今年梅雨明けが異常に早く、関東は6月27日に梅雨明けとなりました。平年が7月19日頃ですので、20日以上早かった事になります。その後、連日35℃を超える猛暑が続いたと思えば、西日本では大雨と、地球温暖化の影響なのでしょう。年を追うごとに異常気象を実感する事が多くなっています。

さて、表題に書きましたように2021年より我々が取り扱うねじ製品の価格が急騰しております。ねじ製品の多くが、鉄鋼二次製品ですので、主たる要因は鋼材価格の高騰です。鉄鋼関連の新聞を読んでいると、毎日のようにいろいろな鋼材の値上げ記事が掲載されており、なにかいくらいつから値上げなのか、頭の中が混乱してきます。自分の頭の中を整理する意味もあり、少し値動きを調べてみました。本来は冷間圧造用鋼線で調べたのですが、統計データが入手できず、主要な鋼材であるH形鋼（鉄骨）で追ってみました。

2011年から2020年の10年間、鉄骨の価格は68,000円（円/t）から89,000円（円/t）のおよそ20,000円のレンジで推移していました。この期間はねじ製品価格もある程度落ち着いていた事が想像できます。しかし、2020年8月の75,000円（円/t）から2022年6月の124,000円（円/t）まで、1年弱の期間で約65%上昇しています。他の鋼材も調べてみましたが、遅いものでも2021年前半から上昇を始めていて、バラつきはありますが、2022年6月までの上昇率は40〜80%でした。もちろんこれは、鋼材価格の話ですので、ねじ製品の価格上昇幅と一致する訳ではありません。

ませんが、ねじ製品価格の上昇へとつながっています。

組合員の皆さんは昨年からの仕入価格の上昇分の販売価格への転嫁に、ご苦労されているのではないのでしょうか。今後の価格動向については、予断をもちませんが、ここ最近、製品によっては、半年、もしくは3、4ヵ月ごとに価格改定が行われており、かつこの機に今迄の積み残し分や、運送費・梱包資材・電気代等の諸費用の上昇分も含めて改定が行われているようです（メーカーとしては当然のことと思います）。

なかなか難しい事とは思いますが、後手後手とならないように、少しでも早く、適正な利益をとれる価格への改定が重要です。お客様にご理解いただき受け入れてもらえるように、活動を続けていく事が必要ですが、思うように事が進まない例も多いようです。中小企業の価格転嫁への支援を政府としても取り組んでいただきたいと思えます。コロナ禍もついに第7波に入り、新規感染者がこれまで以上に多くなっており、各自、十分に対策をとり、どうぞ感染に気を付けてお過ごしください。



H形鋼 (5.5/8 × 200 × 100)

t / 円

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
東京	高値											
2011年	82,000	83,000	83,000	85,000	83,000	80,000	80,000	78,000	78,000	78,000	75,000	74,000
2012年	74,000	73,000	73,000	73,000	72,000	70,000	69,000	68,000	68,000	68,000	68,000	68,000
2013年	69,000	70,000	71,000	71,000	71,000	71,000	73,000	74,000	77,000	78,000	80,000	82,000
2014年	83,000	83,000	83,000	83,000	83,000	82,000	82,000	82,000	82,000	82,000	81,000	80,000
2015年	80,000	79,000	79,000	78,000	78,000	78,000	78,000	76,000	76,000	74,000	73,000	73,000
2016年	73,000	71,000	71,000	71,000	71,000	71,000	69,000	69,000	69,000	69,000	69,000	71,000
2017年	73,000	73,000	74,000	76,000	76,000	76,000	76,000	76,000	78,000	78,000	79,000	81,000
2018年	84,000	84,000	84,000	84,000	85,000	87,000	87,000	87,000	87,000	88,000	89,000	89,000
2019年	89,000	89,000	89,000	89,000	89,000	89,000	89,000	89,000	86,000	86,000	85,000	85,000
2020年	82,000	80,000	78,000	77,000	75,000	75,000	75,000	75,000	76,000	77,000	77,000	81,000
2021年	83,000	85,000	85,000	86,000	91,000	96,000	101,000	103,000	109,000	111,000	111,000	111,000
2022年	111,000	113,000	116,000	119,000	119,000	124,000						



講師 阿部英幸氏



セミナーの様子

当日は、介護保険制度の仕組みや財源構成と規模、同制度利用の流れ、要介護認定制度、介護施設における特養老人ホーム、通所介護・訪問介護等の違いなど分かりやすくお話いただきました。新型コロナウイルス禍での開催を踏まえ、会場の定員を30名に限定、同時にオンライン受講とハイブリッド開催としました。

◇第1回セミナー開催報告
 開催日 7月7日(木)、午後6時～7時30分
 講師 阿部 英幸 氏 (文京区福祉部介護保険課長)
 演題 「介護問題に関して
 (現状の介護問題、親世代の高齢化等)」

流通経営委員会



支部だより

昌栄支部 活動報告

昌栄支部

副支部長 丸岡 誉 俊

昌栄支部は今年度一回目の定例会を六月一七日、日暮里ホテルラングラウツにて開催しました。

昨年十一月以来、実に半年ぶりの開催になります。

本部報告事項、支部報告事項を発表して定例会は一旦閉会。

懇親会が始まると、昌栄会では恒例の今日一番遅れて来た会員による乾杯の発声です。

今回は、(株)サントップ磯さん。景気良く乾杯したら、いい気持ちでそのまま会員近況報告に突入。

新規の顧客を獲得して、儲かっちゃって大変とのこと。ふと自分を振り返ると、コロナ不況で暇になっちゃってとか、景気が悪くて困ったとぼやいてばかりだと気付いた。

ぼやいたところで景気が良くなるわけでもなく、心落ちるだけなのに。

そうそう、気は持ち様なのだ。上を向いて歩こうと坂本九さんも歌ってる。

たまには、磯さんの景気のいい話も聞けて、考え方を切り替えるきっかけもらえる。

そんな昌栄会を毎月開催できるよう、コロナに気を配りながら企てていきたいと思えます。



城南ぼんやり旅行記

— 城南支部 —

(株)浦山 三井龍基

旅行記は大変苦手である。苦い記憶は後まで残るが楽しい記憶は意外とぼんやりしたものだ(日本酒の影響も多分にある)。

今回の旅行は非常に楽しかった。この事実は覚えている。が、しかしだ！正直に告白する。詳細は

「覚えていない……」

覚えていないのに旅行記を書ける訳がない。だからこそだ！今回は「そうだったかもしれない」風で筆を進める事にする。

【集合(記憶そこそこ)】

6月4日(土) 快晴

集合場所の東京駅へ急ぐ。朝の駅構内で修学旅行生、団体のツアー客とすれ違う。だんだんと日常が戻って来たことを実感しながら集合場所に到着か？

久しぶりの再会を果たした10名。笑顔があふれていたような気がする。たぶん。感染対策を万全にしながら、いざ出発！

【出発(記憶まあまあ)】

今回の旅はたしか宮城・岩手の2県。東北新幹線はやぶさ11号は満席だったはずだ。マスク越しに久々の会話に花が咲く。

何を話したのかは覚えていない。気がつけば仙台駅についていた……

【松島散策(記憶薄め)】

どこかの観光バスで移動。車内は飲食禁止。県からの要請らしい。感染対策は万全である。さてバスを降りると目の前に綺麗な海が広がっていた。素晴らしい眺めだ。やはり東北の海の美しさはレベルが

違うなと感じた。

が！ここが日本三景の松島であった事には後から気づいた……(涙)

【お寺見学(記憶薄々)】

徒歩にて国宝「瑞巖寺」に移動。本堂は伊達政宗公の創建で5年の歳月をかけて完成した(とホームページに書いてある)てか……ここ行つたっけ？

【昼食(記憶極薄)】

さてお待ちかねの昼食。四季亭。素敵な名前だ。手指消毒、マスク会食、ディスプレイは万全だ。いづりであろう？こうして素敵な仲間たちと会食ができる喜び。美味しいな。なに食べたのかな……

仲間との時間が美味しんだって。言わせるんじゃない。粹じゃないぞ。

【蒸留所見学(記憶薄)】

昼に日本酒を飲んで少し復活。ニッカウキスキー宮城峡蒸留所でお土産購入タイム。素晴らしいオークの香り。この香りだけで充分酔つた……

【宿移動(記憶やや薄)】

今宵のお宿は秋保温泉ホテルニュー水戸屋白梅亭。いやはや立派な佇まい、広い館内、豊富な温泉。全てが素晴らしい。雄大な温泉に入りつつ、ゆるりとした時間が流れていく。ただただ贅沢な時間。人生、限られた時間をいかに有効に過ごせたもの勝ちであるのだ。ありがとう旅行会幹事色川大将。ありがとう谷支部長。

【夕食(記憶極低頭)】

部屋から食事場へ、どのくらい歩いただろう。ただただ遠い。夜だ。おそらく夜だ。ようやく辿りつき、どなたかのご発声で何かが始まった。手指消毒、マスク会食、もうこうなれば星空のディスプレイ。燃え上がれ愛のディスプレイ開幕。そうだ、こういうのでいい

んだよ的な実に宿らしい食事。以前は当たり前だった食事を頂ける幸せ。こういうのがいいんだよ……

今日は呑むか！ いやもう呑んでる！ と思いながら目線を左前に向けると中村さんが寝た。チャンスだ。絶対的チャンス！ 安心して呑める！ と思った瞬間から意識がない……しまった……安心してすぎた……

【朝ごはん（意識明瞭）】

前日の失態を打ち消すべく、誰にも気づかれないように端で出来るだけ端で飲み始める。旅館の朝ごはんっていいな……だって久々のビュッフェスタイル。コロナ禍では避けられていたのに、皆が楽しそうに食事を楽しんでいる。これが旅行の醍醐味だ。つい食べ過ぎる。取りすぎる。和洋折衷の色とりどりの目に美しい朝食。だったような気がする。日本の朝は素敵だ。

【中尊寺（記憶だいたい）】

バスで移動。皆さん、中尊寺は何度も経験があるらしいが私は初体験。あがる。あがるぞ。この旅のメインディッシュ。観てみたい。黄金に輝くあの雅なる金色堂を。って、えっ？ 屋内なんかーい！ 金閣寺的な圧倒的存在感を期待してしまった。ただ、それはそれで歴史を感じる。誰が祀られてるかって？ それを自ら調べるのが真の学びだ。

【昼食（記憶けっこう）】

バスでの移動で「和風レストラン牛の里」に到着。旅も最終章。物悲しい。やはり地物は美味しい。米沢牛である。皆夢中だ。ただし、水を差すように旅行会幹事色川大将が皆に問いかける。「名物だぞ、松坂牛！ 堪能してよいぞ。よきにはかられ！」もはや今、どこに居るのか……

【見学（記憶まあまあ）】

巖美溪見学。川向いから団子が飛んできた。飛んできた団子を受け

取る。令和の時代だ。それが何より風流である。日本の良さってこういうことだ。

【帰郷（記憶はない）】

一ノ関の駅から、やまびこ66号での東京帰郷。旅の終わりの独特の物悲しさ。いやまた行けるさという次への期待。だから旅は辞められない。久々の旅行で皆疲れて、ぐっすり眠っているのだ。つまりは楽しみ尽したのだ。ありがとう旅行会幹事色川大将。ありがとう谷支部長。ありがとう支部の皆さん。気が付けば家についていた。どうやって帰ったんだろう。覚えていないということがすべてを物語っている。それだけ楽しい旅だったのだ。また次だ。次を望みたくないので人生という旅なのだ。本当に鮮明な記憶の旅は人生の最後の最後で良いのだ。だから旅はやめられない。



第一回 墨田支部例会 報告

— 墨田支部 —

(株)ネジマツ 松島洋介

6月9日(木)に、約3年ぶりとなる、墨田支部例会を錦糸町「金太郎寿司」にて行いました。

13社13名が出席し、各委員会報告、その他議題について話し合いがありました。今年度の支部旅行会に関しては中止ということになりましたが、支部ボウリング大会に関しては9月3日(土)開催予定で進めることになりました。ただし、コロナの状況により1か月前に開催可否を決定します。

久しぶりに支部会員との懇親もでき、やはりオンライン(ZOOM)での会議より意見交換が活発にできたことと思います。コロナ禍もだいぶ落ち着いてきた感もあり今後は積極的に支部活動も再開できそうです。



金太郎寿司 2Fの雰囲気

台京支部の例会

— 台京支部 —

(株)小池製作所 小池昌彦

台京の例会が上野で6月22日に二年半ぶりに開催されました。台京会は今十四名いますが、半分の七名が参加されました。

篠田支部長の馴染みのお店で豆腐料理の割烹のコース料理をもてなしてくれました。

今回も毛利さんが参加してくれ深澤さん小西さん篠田さんなどベテランから中堅の古藤さん渡辺さんまで皆で話をして、ひさしぶりに盛り上がりました。次回は10月に皆で集まろうと言うことで解散しました。



千神螺支部・納涼会

— 千神螺支部 —

今年の千神螺支部の新年会は、新型コロナウイルス感染者の増加で、一月開催予定が二月に実施された。今日七月十四日の、東京の新型コロナ感染者数は、約五千人。「納涼会」は延期されるのではないかと思っていたが、神田にある、鰻の老舗「久保田」で開催された。体調を崩され、欠席された方もいたが、猛暑にも負けず、新型コロナにも感染せず、元気に？ 八名が出席された。

まず初めに大里支部長挨拶があり、続いて各委員会の報告等が済み乾杯となった。八ヶ月ぶりに会った方もおり、今日までの近況報告と四方山話で、場は盛り上がった。今日出席された方は、七十歳台が三人、六十歳台が二人、四十歳台が三人。「年齢」の話になり、老化現象で足が上がりづらくなり、小さな段差でつまづいて転び、救急車で病院へ急行したりと、「怪我」や「健康」の話が多くなった。次々に出てくる料理を食べ、アルコールを飲み、いつもの楽しい例会となった。楽しい時間を過ごし、「うな重」をお土産に散会となった。

この原稿を書いている七月二十八日、今日の新型コロナ新規感染者数は、東京都だけで三万五千人、全国では十九万五千人となった。この様な状況だが、新型コロナの治療薬が出来て、一日も早く普通の日常に戻れ、十一月に予定されている「千神螺支部旅行」が出来ることが願って、支部便りを書いています。



七月墨水支部例会

— 墨水支部 —

(株)トウヨーネジ

内田 佳菜子

七月六日(水)、浅草のフレンチレストラン『ピストロマエダ』で墨水支部の例会が開催されました。当日の昼間は曇りで湿度も高く、肌にとわりつくような生暖かい空気が不快指数を高めていましたが、夕方になるにつれ湿度が下がり始め、心地良い風が吹く中いざ会場へ。

今年の例会の開催方法は、四月～五月までは屋外席のお店を選び、六月は屋内で広めの個室。そして今回は感染者が再び増加傾向にあったため、感染防止対策を踏まえてお店を貸し切りしました。また、例会の案内でもワクチン三回目接種前提での参加を呼び掛けているので、できる限りの対策をしながら例会の開催を工夫しています。

今回は十一社十二名が出席。私自身もコロナ禍になってから約二年ぶりの出席で、やや緊張気味でしたが、久しぶりさを感じない雰囲気、が墨水支部の良い所だなと改めて実感。恩田支部長の挨拶から始まり、島田氏による乾杯の音頭で歓談がスタートしました。

料理は一品一品がとても美味しく、スタッフさんが案内するたびに料理名をメモして写真も撮らねばと気合を入れていたのですが、いつの間にか楽しい歓談に夢中になってしまい、気が付いたときには写真はほぼ撮っておらず、料理名もなんだったつけ状態。それくらい久しぶりにメンバー達と会えたことが嬉しかったのだと思います。

その後宴もたけなわの中、例会も終盤へ。佐藤氏による締めめの挨拶のあと、解散となりました。



港鉄螺会七月例会

港支部

広報委員 野口俊家

港鉄螺会の顔を合わせての活動は四月十三日の例会（於・メルパルク東京）からで、二回目が七月十三日となりました。一月以降のオミクロン感染拡大が四月にはずつと減少してきたので、当初は更に減少傾向の内に開催されると予想していました。しかしオミクロンBA・5感染の急拡大のせいもあってか、参加者は少なく十八社中、七社八名に留まりました。以下当日の例会の様子をご報告いたします。

〔日時〕…七月十三日、午後六時～

〔場所〕…メルパルク東京（浜松町）三階

〔参加者〕…七社八名

〔司会〕…宇都宮副会長

〔片山会長挨拶〕

電力不足が言われている今夏ですが、深圳に約十五年前に通った頃の中国の電力事情を思い出します。

当時はまだ今の様に地域の発電能力がなく、計画停電と言って配電に割り当てがありました。夏の深圳方面のうだるような暑さは格別で、空調が使えない時は体全体がポットとして気力も起さず、当時はとにかく水を十分にとって耐えるしかありませんでした。日本でも今夏は電力不足の危険性があるとか、様々なことが重なってこういう予測も立てざるを得ないのでしようが、ああいう思いはしたくないものです。今宵は現在我々を取り巻く様々な話題を出し合いながら、一時の涼を楽しみましょう。

〔渡邊顧問による乾杯の音頭〕

人類は交際する動物であります。この点、過ぎた二年半はお互い顔を合わせる事は難しかった。今晩は久しぶりの例会開催で、勿論参加・

不参加は自由であります。この空白の時間が延びるほど人間関係が廃れるのではと危惧するところです。しかし今晩はこうして集えたので楽しく過ごしたいと思います。まずは皆さま 乾杯!!

〈後半期の活動の見通し〉

後半期の活動もコロナ感染の状況に左右されるので、開催時点になってみないと分かりませんが、まず八月の役員会は現下の様相から書面による事になりました。しかし九月のボウリング大会、十月のゴルフ会、十一月の東鉄協ボウリング大会、同月の墨田支部様との合同例会までは開催しようと、後半期の見通しが片山会長から述べられました。全員異議なしです。

この後恒例の各自近況発表となりました。

〈皆さんの発言のエポック〉

やはり昨今の共通話題はお客先への価格改定で、各社の事情を聴きました。共通していたのは各社積極的に価格改定を申し出ており、それに対して顧客各社は各様の対応でした。

特に厳しいのは自動車産業で、申し出に対しては他社へ見積りを出して転注された例もありました。ただ公正取引員会からは大企業は下請けに値上げを認めるようにとの通達が出されており、基本的には申し出を受けて妥当性のあるものは値上げを認めるようにとの指導もあり、すんなり認めてくれた顧客もあったそうです。

又この際だから商売の原則（互いにWIN/WIN）を守ってくない顧客とは将来を考え一線を画そうかというような勇氣あるお仲間もいました。

お客様先におかれても材料その他の諸物価高騰は認識しているの、話は聞いてくれるというのがどうやら共通項ですが、材料などの値上がりは何回にも分けて値上げしてくるので、どのタイミングで価格改定をすべきかについては、各社頭をひねるところのようです。結局はケースバイケースでしょうが、別の視点で現在日本は産業構造が大きく変わる局面なので、我々中小企業は統合や合併、提携含め会社の在り方を考え直す時期に来ているのでは？ という見解もあり、目

先の戦術も必要だが、少し時代を見据えた戦略も会社の大小問わず検討すべき時に来ているというご意見もありました。

〈メルパルク東京閉館〉

港鉄螺会が例会ではよく利用していた浜松町のメルパルク東京がこの八月一杯で閉館となります。我々組合員二世三世は例会をこの場所で開催するのが常だったので閉館は寂しい限りです。これも時代の移り変わりなのか、仕方がありません。

〈馬場理事長締め〉

今宵は久しぶりに皆様のお顔を拝見し、又有意義なお話も伺えて大変勉強にもなり又励ましにもなりました。後半期の東鉄協の活動もコロナ感染次第で分かりませんが、開催されればこの支部会と同様参加していただき、お元氣な皆様のお顔を拝見したいと思えます。本日はご参加ありがとうございました。その後三本締めでお開きになりました。



泰鉦会だより

泰鉦会活動報告（総会・新年会）

泰鉦会 株式会社アツマネジ 篠崎 隆 広



令和四年六月十日（土）、泰鉦会（金枝総吉代表幹事）は、静岡県熱海市内にある熱海温泉「新かどや」にて「2022年度泰鉦会 総会・新年会」を開催致しました。

当初は今年二月に都内での開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大による蔓延防止等重点措置の適用があり、延期となっていました。

当日は十一名の会員に加え新聞社二社（二名）が出席致しました。総会は、三井庶務幹事が司会を務め、金枝代表幹事のご挨拶で始まりました。

議案の審議は、次のとおり進められました。

【一号議案 前年度活動報告】を前年度代表幹事 岩楯氏、【二号議案 前年度決算報告】を前年度会計幹事 大西氏より、それぞれ報告がありました。その後、【三号議案 本年度活動計画案（テーマ：さいかい）】を金枝代表幹事、【四号議案 本年度収支予算案】を張ヶ谷会計幹事、【五号議案 配布資料及び会則冊子等のペーパーレス化】を三井庶務幹事より、それぞれ報告があり、各議案、全会一致で承認されました。

続いて、前年度幹事の岩楯氏、大西氏より、ご挨拶がありました。

最後に、新入会員三名（ムラタ産業（株）村田 泰信氏・（有）松原工業所 松原 拓哉氏・（株）中村商会 新城 主人氏）の紹介があり、松原氏よりご挨拶を頂きました。

今年度の活動について、主たる内容を次のとおりPRさせて頂きます。2022年度の泰鉦会テーマは『さいかい』です。これは、新型コロナウイルスの影響により活動を自粛していたことを受け、泰鉦会活動の本格的「再開」、泰鉦会会員同士の「再会」に因み、何れも今年一年、明るく安全に活動が出来るよう想いを込めたテーマとしています。

主な行事としては、八月に「臨時総会・納涼会（於、神楽坂）」、十月に「旅行会・勉強会（於、京都）」、十二月に「忘年会（於、向島）」を予定しています。

また、泰鉦会では環境に配慮した運営を目指し、SDGsに関する取り組みを行います。具体的には、配布資料及び会則冊子等のペーパーレス化を推奨します。今回の総会より資料の配布を廃止し、予め配信されたデータを各自持参して参照することと致しました。

総会終了後、暫しの休憩を挟み、宴会場にて新年会を開催致しました。金枝剛史氏の乾杯により宴会が始まり、マスク会食を心掛けながらも、会員同士の親睦を深めることができました。竹内氏の締めのご挨拶により、和やかな雰囲気の中、新年会はお開きとなりました。その後、希望者は「新かどや」に宿泊し、温泉を満喫する等、熱海の滞在を楽しみました。

今年には三名の新入会員が加わり、総勢二十二名で泰鉦会を盛り上げて参ります。また、厳しい情勢が続く中で、会員の皆様と交流できることに喜びを感じると共に、今回、総会・新年会開催に際し、様々な調整を図って頂いた幹事の皆様に感謝いたします。今年度、泰鉦会の行事が滞りなく行えることを切に願ひまして、泰鉦会活動の報告とさせて頂きます。



◇東鉾ゴルフ会報告◇

本年度第1回(通算第152回)のコンペが4月20日に行われました。7位までの成績は左記のとおりです。

第 152 回 成績 プレステージCC

順位	氏名
優勝	小谷 彰宏
二位	吉田賢一郎
三位	馬場美由紀
四位	竹田 弘二
五位	石川 隆一
六位	野口 俊家
七位	中村 勝士

組合の会議から

- ◇四月五日 理事会 午後六時(東鉾会館)
- ◇六月十六日 広報委員会 午後六時(東鉾会館)
- 二四日 流通経営委員会 午後六時(東鉾会館)
- 二八日 総務委員会 午後六時(東鉾会館)
- ◇七月七日 理事会 午後五時(東鉾会館)

訃報

昌栄支部 石川ピーシー工業(株) 代表取締役 石川康隆様 ご尊父 石川象次様 六月二十七日に逝去されました 謹んで哀悼の意を表しご報告いたします

新シリーズ

私の逸品

広報委員 双信工業㈱ 水田 三喜男

これは是非お勧めしたい、これにはこだわっている。そういったものを皆さんひとつはお持ちではないでしょうか。そういったものを「私の逸品」として紹介するコーナーです。

今回、私の逸品としてお勧めするのは、「亀十のどら焼き」です。どら焼きと言ったらドラえもんも大好物の和菓子としても有名ですね。最近はコンビニでも工夫を凝らしたどら焼きを販売しているのを見かけるようになりました。そんな中でも群を抜いて私が逸品と言いたいのが大正創業の老舗和菓子店「亀十」さんのどら焼きです。

場所は浅草寺の雷門のすぐ近くに店舗を構えていて、いつも行列ができています。休日に浅草方面に遊び行った時にはいつも食べたいと思うのですが、大行列を見て諦めることもしばしば。今回記事を書く上で久しぶりに食べたいなと思いつき、七月の日曜日に行ってきました。別件の用事を済ませて到着したのが10時20分頃。開店より少し遅れてしまいました。結局、一時間程待ちました。亀十のどら焼きは、黒あん和白あんの二種類。この日は黒あんを購入。普通のどら焼きの皮は表面が綺麗な焼き色がついていますが亀十はまだらな焼き色となっています。袋から出すと皮の柔らかさを感じ、口にした時に、えっ、これがどら焼き？と思わせるほど皮がパンケーキのようにフワフワした食感。それに小豆がしっかり感じられる餡と合わさることで絶妙な美味しさを感じることが出来ます。暑い中、行列に並んだ甲斐がありました。

賞味期限は買った日から三日となりますが客先や出張先などの手土産や差し入れとしても喜ばれると思います。この日も食べたことのない友人に差し入れたところ、やはり驚きと美味しさに喜んで頂けました。

製造数にも限りがあり、午後から遅い時間は売り切れる可能性があります。ございますので行かれる際は早目に。平日の早い時間がおすすです。私の逸品、是非ご賞味ください。



『亀十』

住 所：東京都台東区雷門2-18-11
T E L：03-3841-2210
営業時間：10:00～19:00
定休日：不定休



新社長紹介

◇港支部

武蔵野鉄螺株式会社

代表取締役 小松 秀旗 氏



令和三年十月より前代表取締役 小松貴行から代表取締役を引き継ぎ就任致しました小松秀旗と申します。

弊社は、昭和二十八年に私の曾祖父が設立し私で五代目になります。

て参りました。

これまでの経験を活かし、これからの時代にあった会社にしていきたく日々邁進していく所存でございます。

創業六十九年の歴史ある事業を長きにわたり支えてこられた前社長が約三十五年間続けてきたこの会社を継承し、精進して参りたいと思えます。

就任して日も浅い若輩者ではございますがこれまで同様、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

【生年月日】 昭和六十年十二月二十七日生

【趣味】 釣り、アウトドア、スポーツ観戦



情報室

『大人になったらなりたいもの』

広報委員長 (株) 佐竹製作所 尾方 謙 一

今年6月に公表された、「骨太の方針2022」で重点投資分野の一つに「スタートアップ」が選定され、今後、我が国のスタートアップ促進策は一段と拡充されることになる。でも、その一方で、我が国のスタートアップを立ち上げようという人が諸外国に比べて圧倒的に少ない。

いくら手厚い支援策を用意したところで、肝心の支援先が少ないままでは期待通りの効果を上げることは難しい。私も10年前にベンチャー企業を創業し、今では外部資本を入れて社外取締役を迎えたが、今の日本では想像以上にスタートアップする企業への支援先の確保が厳しく、期待通りに成長させるにはハードルが高いと実感する。

スタートアップの担い手が少ない要因の一つとして、社会全体で安定志向が強い。それを端的に示すのが、第一生命が毎年行っている調査がある。今年、中学生、高校生の男女とも、大人になったらなりたいものの1位が、起業とは対極にある「会社員」になったとのこと。小学女子だけは4位ですが、小学男子ではやはり1位が会社員である。「会社員」を選んだ理由として最も多かったのは「働きやすそうだから」との回答であった。ワークライフバランスの重視のもと、フレックスタイトム制をはじめ多様な働き方を導入する企業が増加し、コロナ禍の在宅勤務で会社員のご両親が身近になったからだろうか。

ひと昔前なら、男の子はお巡りさんか運転手さん、女の子は花嫁さんかケーキ屋さん、航空会社CA。それが今ではガラツと変わり、YouTuberやサッカー選手、ゲームクリエイター、ITエンジニアがランクイン。でも、そんな変化ですら、もう遠い過去の話だと

いうことを、つい最近知った。

とある会合で、東京大学大学院の教授と話をする機会があったが、今どきの東大生が就職先に狙うのは、昔のように「エリート官僚」を希望する人は少なく、MBBが人気とのこと。MBBとはマッキンゼー・アンド・カンパニーとボストンコンサルティンググループ、ペイン・アンド・カンパニーの戦略系コンサルティング3社を指す。他に外コンでは世界四大会計事務所系のデロイトトーマツコンサルティングやPWCコンサルティングなども人気。しかし、学生になぜそこを目指すのか？と問うと、行きたいところがない。日本企業で魅力ある会社がない、外資系のことを経験しておけば、将来行きたいところ（会社）に、自由に行けるから。ということである。

いずれにしても、学生や子供たちが、スタートアップ（起業）したいという傾向が高まるには、単なる手厚い支援策ではなかなか難しいかもしれない。我々中小企業経営者も自らが何らかの働きかけをして、その機会を作っていくべきと実感した。時代の変革に合わせて次世代の新しい仕事や新しい企業が生まれることを期待したい。





表紙のことば

The★食欲の秋!!

皆さんお元気にされてますか？ 相変わらずコロナ……増えたり減ったりして、私達の生活に制限をかけてきますよね。

本当に困ったもんです。そのような状況下で心身の健康を保つためには……やはり**（食）**!!

美味しい料理を元気にモリモリ食べて、今年もあと4か月!! 元気に行きましょーっ!!

株式会社ウチダ 内田 晃一

